

## ヒヨコ・ニューサークル (HNCM) 便り

●令和 2 年 1 月 10 日 (金) ~ 12 日 (日)

### 日本百名山「九州・祖母山」登山報告

保久良支部 小堺 忠史

写真/吉野 宏・勝田 徹

ヒヨコニューサークル令和 2 年最初の企画で、大分県と宮崎県に跨る祖母山に登って参りました。今回はニューサークルの有志と旗振支部の先輩方による総勢 17 名、弾丸フェリーによる 0 泊 3 日、山あり酒ありの弾丸登山となりました。

1/10 (金) 18:40 行程通りのバスに JR 住吉駅前から合流すると、バスにはすでに皆さんが乗車されており、自然と弾丸登山への期待が高まります。「いざ九州へ！」と六甲アイランドを出航しました。フェリーでの様子は割愛しますが、翌日の登山に備え?・お酒を控えることは一切せず、親睦を深めました。!



弾丸フェリーと船内の男湯 (案内写真引用)



翌朝、大分港より手配していたバスに乗車。途中のトイレ休憩を挟み、約 1 時間半で大分県竹田市の神原登山口へ到着。

9:00、いよいよ標高 660m の登山口より祖母山頂への登山の始まりです。

祖母山は標高 1756.4m で、九州本土では 6 番目に高い山で、別名を姥岳 (うばだけ) 又は、鶴羽岳と呼ばれ、山頂に神武天皇の祖母にあたる豊

玉姫を祀ったことから祖母山の名がつけられたといわれています。日本百名山にも選ばれ、山頂からの展望はきわめて壮大で、九重連山をはじめ、鶴見岳、由布岳、阿蘇五岳などが望めます。



登山口入口で全員集合!

さあ出発というタイミングで、吉野会長より「今回は九州出身の小堺くんが、会報の記事を書いてくれるそうです!」との無茶ぶり?で一気にテンションが下がり、お腹が痛くなりました。



駐車場・トイレが完備された 1 合目登山口

気を取り直し歩き始めてまもなく一合目の滝が見えてきました。曇りながらもさわやかな空気の中、眼下に渓流を感じながら、気持ちよく整備された登山道を先に進みます。今年は九州も暖冬で、積雪どころか岩や倒木に苔 (コケ) が青々と群生しており、見ているだけで視力が回復する気がします。

五合目を過ぎると、急登、足場の悪い岩場が続き、山頂までの距離がなかなか減らず、ひたすら登り続ける山道に「さすが百名山!」と再認識させられました。



五合目の避難小屋（冬期はトイレ無し）

大岩を過ぎた頃には寒さと疲れで皆さんの口数も減り、殺伐とした空気が漂い始めたときに、突然太陽の陽が差し、視界が開け、目の前にドンと聳える祖母山が姿をあらわしました。



国観峰（くにみとうげ）から祖母山頂を望む

そこは三県境へ向かう登山道との合流地点となっている標高 1,486mの国観峰(くにみとうげ)でこの場所だけ木々が生えていない広大なスペースとなっており、手前にお地藏さん、その奥に祖母山頂を望むことができます。水分補給の休憩をし、先へ進みます。(山頂まで 200m) すれ違った登山者から「九合目まで 30 分、山頂までは 1 時間。」と聞き、目の前に人参をぶら下げられたことで、雰囲気もすっかり回復しました。

しかし、時刻は 13:00 前。燃料切れであることは間違いなく、はやる気持ちを抑え、山頂へ向かう前に九合目の小屋(標高 1,655m地点の避難小屋)で昼食をとることになりました。リーダーの判断に異議なしです！

山小屋は想像していたものより立派で、室内には炬燵や座布団もあり、奥さんと喧嘩したらここに来ようと思いました・・・。

燃料満タン！さあ山頂へのアタックです！（山頂まであと 100m）・・・。



祖母山山頂の標識



山頂からの大展望！



旗振支部隊の皆さん

山頂は快晴。360度見晴らし良好。阿蘇連山、由布岳なども望め、風も無く暖かく、長居したかったのですが記念撮影を済ませ、早々に下山開始。体力を消耗していますが、下山は気が抜けません。ここからが正念場です。国観峠から五合目小屋までの急降下は転んだら・・・さよなら！！・・・です！集中力を切らさず、ワンチームで進んでいきます。・・・五合目小屋に到着した時はホッとしました。

17:30、今か今かとヤキモキしながら待っていた運転手さんの元に到着！・・・休む間も無く荷物を車内にほり込んで、発車オーライ！！・・・渋滞もあり、運転手さんにはかなり頑張って頂き、何とか出航締切時間ギリギリの19:00、大分港

に到着。コントのようにドタバタで搭乗口へ！全員のチケットがあることを確認し、ホッと一息。あとはフェリーが神戸へ運んでくれ、程よい疲れと無事に下山した安堵感で、つついお酒も進み、会話も弾みます。私の場合、このために登山を始めたと言っても過言ではありません。

私は経験が浅く、今回で百名山2座目ですが、好天の中、楽しいメンバーで登頂出来たことは良い経験となりました。今後は参加させてもらうだけでなく、企画にも加わりたいと思います。

今回の山行につき、計画立案を取りまとめて頂いた渡田リーダー、有難うございました。吉野会長、乾支部長はじめ、旗振支部の皆さん、ご一緒して頂き有難うございました。



令和2年1月11日(土) 祖母山山頂にて